

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設の名称	宮城県こもれびの森森林科学館
指定管理者の名称	株式会社ゆめぐり
施設所管部課(室)	環境生活部 自然保護課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成20年 4月 ~平成23年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会	
平成23年 4月 ~平成28年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会	
平成28年 4月 ~令和 3年 3月	指定管理者	特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会	
令和 3年 4月 ~令和 8年 3月	指定管理者	株式会社 ゆめぐり	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	株式会社 ゆめぐり
	所在地	宮城県栗原市志波姫新熊谷279番地2
指定期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日 (5 年)	
募集方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県こもれびの森森林科学館	
所在地	宮城県栗原市花山字草木沢角間10-7	
設置年月	平成 7年 4月	
根拠条例等	県民の森等の施設及び管理に関する条例	
設置目的	<p>森林や自然環境に対する県民の関心の高まりや、自然とのふれあいを求める人々が増加してきている中において「こもれびの森」は、スギ等の人工林や樹齢200年以上のブナ・ミズナラ天然林をはじめ、多くの動植物が生息・生育する豊かな森林である。</p> <p>森林科学館は、このような「こもれびの森」を背景にした、自然環境や森林・林業についての正しい知識・理解を身に着けるための学習機能と森林レクリエーション機能を併せ持つ、県北の拠点施設である。</p>	
施設の内容	敷地面積	森林科学館等541.91㎡、湿性植物園等12,987㎡
	構造	森林科学館:木造平屋、湿性植物園:池及び観察路等
	内容	森林科学館 デイキャンプ施設 湿性植物園 山菜、野草見本園
開館(所)日	4月1日~11月30日(無休)	
開館(所)時間	午前9時00分~午後4時30分(4月~10月)午前9時00分~午後4時00分(11月)	
指定管理者が行う業務の範囲	(1)森林科学館等の運営業務に関すること (2)森林科学館等の維持管理業務に関すること (3)施設利用に関すること (4)入園者の拒否等	
利用料金制	採用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	入場料は無料だがクラフト体験、野外炊飯プロパンガス使用は実費徴収

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
開館(所)日数	244 日	244 日	244 日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	4,000 人	2,056 人	1,928 人	48.2%	93.8%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
一般入館者	3,240 人	1,444 人	1,236 人	38.1%	85.6%
団体利用	600 人	460 人	563 人	93.8%	122.4%
自主事業(フォレストクラブ)	90 人	80 人	63 人	70.0%	78.8%
特番事業(クラフト教室)	70 人	72 人	66 人	94.3%	91.7%
	0 人	0 人	0 人	0.0%	0.0%
合 計	4,000 人	2,056 人	1,928 人	48.2%	93.8%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和6年度) (A)	前 年 度 (令和5年度) (B)	評価対象年度 (令和6年度) (C)		
県指定管理料	8,132	8,132	8,132	100.0%	100.0%
利用料金収入	0	0	0		
その他	0	0	1		
収 入 計 (a)	8,132	8,132	8,133	100.0%	100.0%

(2) 支出

人件費	5,130	5,499	5,272	102.8%	95.9%
施設管理費	1,489	1,034	1,098	73.7%	106.2%
事業運営費	1,733	1,751	1,910	110.2%	109.1%
その他					
支 出 計 (b)	8,352	8,284	8,280	99.1%	100.0%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-220	-152	-147	66.8%	96.7%
前期繰越収支差額	0	-77	-229		297.4%
次期繰越収支差額	0	-229	-376		164.2%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲

(円)

自主事業収支実績	収 入	支 出	収 支	備 考
		326,614	176,461	150,153

6. 評価対象年度()年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	県の評価 【施設所管課記入】					
				評価	評価				
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に長期管理、中期管理、短期管理を立て関係期間と協議しながら施設の修繕を行います。 ・設備の点検に努め早期に発券修繕を行います。 ・管理運営にあたり、専門業務、法令等に定められている管理項目については委託対応し万全の体制で利用者を受け入れられるよう施設設備を管理していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕については宮城県担当課と協議し計画的に修繕を行っていただけるよう要望しました。 ・本年度は猪被害エリアが拡大したため担当課に相談しました。 ・不具合箇所については、速やかに報告しました。 ・日常点検を実施し適正に対応しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・管理施設の保守点検がなされている。また、館内の展示物や設備機器についても適正に管理されており、館内の清掃も行き届いている。 	A			
	収支実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上記記載の計画のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・収支については、自主事業収入などにより当初予定を上回る結果となりましたが人件費に関しては最低賃金の変更に伴い当初予定を上回る結果となりました。施設管理費を見直しにより経費を削減することが出来ました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画どおりの収支実績を達成しており、適切な予算活用となっている。 	A			
効率性	管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・館長を1名選任し管理運営を行う。勤務は交代制として常に2名を配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務は交代制において2名を配置し、常に来場者の対応、施設の管理を実施した。 ・本年度9月に館長が急死し不在となる。休めぐり従業員から森林インストラクター資格者1名を配置し対応。また、次年度に向け森林インストラクターの有資格者1名の雇用を確保した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理及び各種事業等に職員が鋭意取り組んでおり、適正な管理運営がなされている。 	A			
	人員体制	<table border="1"> <tr> <td>正規</td> <td>1人</td> <td>非正規</td> <td>7人</td> </tr> </table>	正規	1人	非正規	7人			
正規	1人	非正規	7人						
有効性	運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・展示案内(森の四季、ジオラマ、野鳥) ・クラフト活動 ・野外活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品をはじめ、野外の動植物についてスタッフが説明、案内を実施しました。 ・新しいスタッフにはこれまでの従事していたスタッフが指導し適切に対応できるよう指導いたしました。 ・今年度は、地元有識者の協力のもと野鳥エリアの充実を図りました。来年度はさらに映像にて野鳥の魅力を伝えるべく準備しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各種業務に職員が鋭意取り組んでおり、適正に運営されたこと認められる。 	A			
	利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上記記載の計画のとおり 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績は昨年を下回る結果。計画に対しても未達となりました。特に7月、8月、猛暑による一般来園者が減少、低調となりました。 ・自主事業やイベントについても募集を下回る結果となり、今後の改善をまいります。 ・団体利用とコロナ禍明け後の野外炊飯場の利用が増加傾向にあります。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は前年度比で減少する結果となった。次年度は広報周知等に取り組み、利用実績の増加に期待したい。 	B			
その他	利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からのご意見を基に不具合があれば早急に改善してまいります。 ・営業広告活動をし、認知度を高めます 	<ul style="list-style-type: none"> ・こもれば通信及びホームページにてPRを実施しました 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用し、情報が提供されている。また、施設のお知らせを定期的に発行し近隣施設に掲示を依頼するなど来客者のニーズに的確に対応している。 	A			
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを用紙による実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施、苦情等はありません。 ・アンケート提出がなくアンケート実施方法等に関して改善が必要と感じておりますが本年度は新たにアンケートを取るに至らず反省しております。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収箱の設置場所を工夫するなどし、意見収集に努めること。 	B			
その他	県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の個人、団体に、グループに対し有利になったり、不利になったりするような取扱いを行わない。 ・施設利用者が設置目的を逸脱した利用をしないよう確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に対応しました ・入園拒否者はいませんでした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の公平性に配慮されており、多様な利用者に対して、適切な運営体制であったと認められる。 	A			
	安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施(年2回) ・緊急対応の知識の習得 ・施設賠償保険に加入 ・危険鳥獣、植物、昆虫に対する対策の実施 ・危険箇所の把握、点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施 ・危険箇所について把握し利用者の危険を事前に排除しております。 ・天候などに配慮し適切な指導及び対応を実施しました。 ・駐車場利用に際しても不法駐車等の注意喚起をし、事故等が無いように管理しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の点検等の安全管理について適正に行われている。また、緊急時の連絡体制も整っている。 	A			

主な視点	項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
				評価		評価
その他	個人情報の保護	・第三者が勝手に閲覧することができないように管理します。 ・個人情報保護条例に基づき個人情報を適正に管理します。 ・パソコンからの情報漏洩しないようにウイルス対策を行います。	・適正に管理しました。 ・パソコン、ネットワークについては、専門とする業者の指導のもと適正に対応しました。	A	実施事業で得られた個人情報、適正に取り扱われている。	A
	自主事業の実施	①自然観察トレッキング ②キッズチャレンジ3回実施 ③イワナのつかみ取りに挑戦 ④紅葉トレッキング ⑤藍染挑戦(2回) ⑥植菌に挑戦 ⑦水鉾砲作り ⑧苔玉作りに挑戦 ⑨一閑張りに挑戦 ⑩巣箱作り	・昨年度同様の自主事業を実施。思うような集客に至らなかった。 夏の期間猛暑で各地において野外活動における事故があったが当館において事故を発生させることなくすべての事業が開催出来てよかった。 ・来年度は更に集客に向けて利用者増に向けて更に事業を増やしてまいります。	B	参加者の安全に配慮して事業が実施される等、運営は適正に実施されたと認められる。	A
	その他の取組	・資材の再活用(リサイクル)に努めてまいります。	・物品については丁寧に取扱いし、できる限りリサイクルに努めました。	A	資材・物品等の効率的な活用に努めており、適切に対応している。	A
総合評価			当社において指定管理受託4年目となりました。当初予定していた自主事業については実施することができました。ここ数年利用者の減少が続く傾向にあり本年においても減少に歯止めがかからない状況にあります。市内にはポスターチラシによるPR、ホームページによるPRを実施してまいりましたが増加には至っておりません。今後更なるPR改善、自主事業の改善に取組んでまいります。	A	誠実に管理運営されており、努力と工夫も十分評価に値する。 今後更なる当該施設の利用と認知度向上に向けた取組に期待したい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増に向けてのPR ・携帯電話不感地帯の解消が必要 ・猪対策(猪被害により自生植物が破壊される) ・施設までの案内看板の整備 ・自炊等屋根の修繕 	施設のPRIについて、様々な媒体の活用を検討すること。 携帯電話不感地帯について、園内放送の活用等、当面の対応について検討すること。 猪対策について、園内の刈払い等の対策を行い、経過観察を行うこと。 施設の案内看板について、現況の写真等を整理し、整備を要する設備について報告すること。